

メーカーアンケートの概要

1. メーカーアンケートの目的

新ごみ処理施設の処理方式や事業方式等を検討するために、プラントメーカーに対しアンケート調査を実施します。また、「VFMに関するガイドライン（平成13年7月（平成20年7月改訂））では、「（民間事業者が当該事業を行う場合の費用の）積み上げに当たっては、コンサルタント等の活用や類似事業に関する実態調査や市場調査を行う等して、算出根拠を明確にした上で計算する。」と記載されており、本調査においても民間事業者の意向等を把握するためのアンケート調査を実施することが有効的であると考えられます。

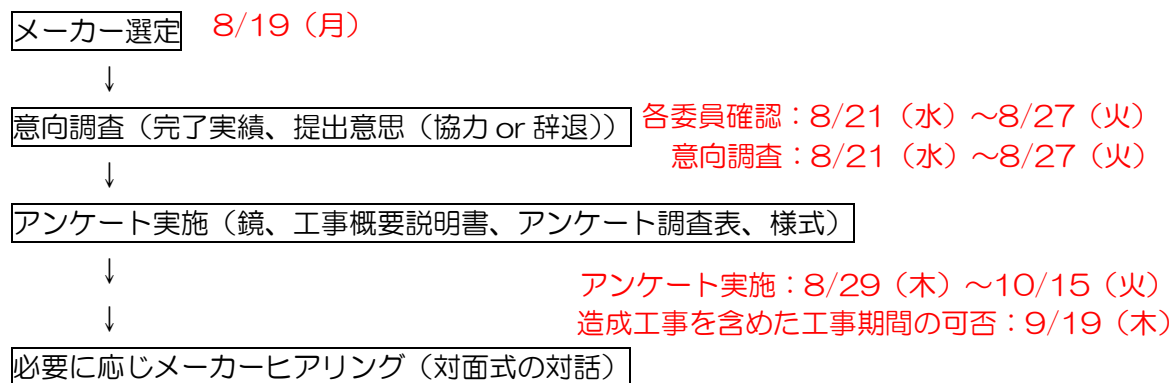
2. メーカーアンケートの内容

民間事業者の意向等を把握するためのアンケート調査として以下に示す事項についてアンケート調査を行います。

- ① 本事業に対する民間事業者の参入意向
- ② 処理方式等の技術資料
- ③ VFM算定（経済性検討）のための基礎情報
- ④ 事業条件等に対する民間事業者の意見

3. アンケート実施手順

メーカーアンケートは、電子メールによるアンケート調査として行い、以下の手順で実施します。



4. 調査対象企業

調査対象企業については、調査内容が多岐にわたることから、すべての設問に的確に回答できる企業を対象とする必要があります。そのため、アンケートを実施するプラントメーカーは同種施設の整備経験等を有する企業を調査対象とします。

【選定基準】

- ① 指名願いの有無（提出予定を含む）
- ② 熱回収施設の受注実績（施設規模：50t/日以上）
- ③ 経営事項審査（以下、「経審」という。）の総合評定値（清掃施設のP点）が1,100点以上あること
- ④ その他、多くの受注実績を有する事業者であること

5. 調査項目

調査項目については、次の通りです。

○処理方式等の技術資料

⇒処理方式、CO2 排出量、再資源化等

○OVFM 算定（経済性検討）のための基礎情報

⇒施設整備費、運営事業費、人員配置計画、SPC 維持費等

○事業条件等に対する民間事業者の意見

⇒役割分担、リスク分担等

○建設工事について

⇒工事期間として、建設工事（設計：約 12 カ月、施工：約 18 カ月、試運転：約 6 カ月）及び造成工事（約 12～18 カ月）の可否